

# よもぎた 議会だより

令和3年8月10日発行

第206号



## いきいき百歳体操 (7月16日/中沢公民館)

梅雨も明け、すっかり夏の陽気の昼下がり、中沢地区の皆さんでいきいき百歳体操を行っていました。週1回30分ほどの体操を続けることで、少しずつ筋力がつき、けがや転倒の予防になります。体操が終わった後のおしゃべりも元気に過ごす素になるかもしれません。

## 目次

- よもぎた応援商品券交付(第2回定例会)・・・P 2
- 一般質問(5議員)・・・・・・・・・・・・P 5
- 小型ロータリー除雪車購入(第2回臨時会)・・・P16

U R L [http://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/sonsei\\_8.html](http://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/sonsei_8.html)

E-mail [yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp](mailto:yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp)

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1211 青森県東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越1-3/TEL 0174-27-2111



# 6月 定例会

## 令和3年度一般会計補正予算を可決 よもぎた応援商品券を交付

第2回定例会が、6月9日から11日までの3日間の会期で開催されました。報告10件、条例の改正、補正予算など議案8件を審議し、原案どおり承認、可決しました。



今回の補正予算の中でも新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により実施する4事業をピックアップ。

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	8,540万円	22億4,825万円
特別会計		
国民健康保険	19万円	4億8,489万円
簡易水道事業	-	1億1,002万円
介護保険	234万円	4億5,292万円
後期高齢者医療	△251万円	8,182万円

(千円単位四捨五入)

### 主な補正予算

(千円単位四捨五入)

### よもぎた応援商品券を村民に



ひとり5000円分の村内で使える商品券を村民全員に発行します。  
○よもぎた応援商品券事業  
1476万円

### 水道使用料を1ヶ月無料

官公庁を除いた村簡易水道を使用している全ての令和3年8月請求分の水道使用料を全額免除します。  
○水道料金使用料  
450万円

### 村内事業者に支援金支給

新型コロナウイルスにより影響を受けている村内飲食店に10万円、それ以外の事業者に5万円の支援金を支給します。

○蓬田村新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金  
460万円

### 蓬田紳装の経営支援

○蓬田紳装経営継続支援金  
1000万円



### ○旧東青農業共済組合蓬田支所一部解体等工事費

246万円  
建物の傷みが激しい一部分を解体し、壁を新設します。



○ライスセンター機械修繕負担金 963万円  
農協が指定管理者となっている村所有のライスセンターの修繕費でベアリングやベルト等の消耗品の交換や摩耗している部分の修理をします。





○小型除雪ロータリー購入  
3313万円

○低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金給付費(ひとり親世帯以外)  
180万円

県が行う低所得ひとり親世帯を除く低所得の子育て世帯へ給付します。(令和3年度住民税非課税が要件、令和3年3月31日時点で18歳未満、障害児は20歳未満)

## 条例

■蓬田村介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルスの影響で介護保険料の納付が困難な方は申請により介護保険料の減免を受けることができる。

改正内容  
対象となる介護保険料の変更

令和2年度分↓令和3年度分

## 主な専決処分

■蓬田村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

■蓬田村税条例等の一部を改正する条例

■蓬田村半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

■令和2年度蓬田村一般会計補正予算(第13号)

■令和2年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算(第5号)

■令和2年度蓬田村国民健康保険特別会計補正予算(第7号)

■令和2年度蓬田村簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

■令和2年度蓬田村介護保険特別会計補正予算(第5号)

■2年度村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

一般会計から特別会計まで事務事業確定による予算調整を行ったもの

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	△2,262万円	27億6,521万円
特別会計		
学校給食センター	△122万円	2,622万円
国民健康保険	△4,389万円	4億7,372万円
簡易水道事業	△396円	8,748万円
介護保険	△2,086万円	4億8,531万円
後期高齢者医療	△67万円	8,961万円

(千円単位四捨五入)

## その他

■青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

■青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

構成団体である十和田地区食肉処理事務組合が令和3年6月30日で解散するため、両組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について、議決した。  
別表中から「十和田地区食肉処理事務組合」を削る。

## 繰越明許の報告

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業  
61万6000円

○ため池ハザードマップ作成事業  
繰越額61万6000円

○橋梁補修工事測量設計事業  
繰越額121万1000円

○村道舗装補修工事  
繰越額2913万5000円

○ため池ハザードマップ作成事業  
繰越額297万円

○橋梁補修工事測量設計事業  
繰越額1000万9000円

○村道舗装補修工事  
繰越額1551万7000円

※繰越明許費：年度内に支出を終了することができない経費を翌年度に限り繰越して使用することができるもの

## 陳情

■資料配付  
安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

# 一目でわかる審議結果〈6月定例会〉

		名 称	結果	賛成：反対
1	報告	蓬田村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	7：0
2	報告	蓬田村税条例等の一部を改正する条例の専決処分	承認	7：0
3	報告	蓬田村半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	7：0
4	報告	蓬田村一般会計補正予算（第13号）の専決処分	承認	7：0
5	報告	蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第5号）の専決処分	承認	7：0
6	報告	蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第7号）の専決処分	承認	7：0
7	報告	蓬田村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分	承認	7：0
8	報告	蓬田村介護保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分	承認	7：0
9	報告	蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）の専決処分	承認	7：0
10	報告	繰越明許費繰越計算書の報告		
11	議案	蓬田村介護保険条例の一部改正	可決	7：0
12	議案	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組規約の変更	可決	7：0
13	議案	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組規約の変更	可決	7：0
14	議案	蓬田村一般会計補正予算（第1号）	可決	7：0
15	議案	蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	7：0
16	議案	蓬田村簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	7：0
17	議案	蓬田村介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	7：0
18	議案	蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	7：0

## 議会議員全員協議会 役場新庁舎建設

7月29日、議会議員全員協議会を開催し、副村長、総務課担当より蓬田村役場庁舎検討委員会からの答申書を受け取ってからのその後の進捗状況について説明を受けた。



村からは次のように進捗状況の説明があった。  
答申された「蓬田村新庁舎建設基本構想」に基づき、新庁舎建設候補地の第1候補地（グリーンタウン東側、蓬田駅への村道南側約15000㎡）所有者4名及び耕作者2名に候補地となった旨を説明し、後日、新役場庁舎建設の開催行為を施行すること等について同意する旨の同意書を出してもらった。  
農業委員会等、各自治会長及び町会長に「蓬田村新庁舎建設基本構想」の概要

を説明した。  
現在、新庁舎の建設に向け、開発行為の許可や農振除外の申請、設計業者選定のための準備を進めている。  
これに対し、議員から質疑、要望が出された。最後に新型コロナウイルスが落ち着いたら、最近新築になった県内の町村庁舎を視察してはどうかとの意見も出され、議会としても今後、庁舎建設に関していろいろ検討しながら対応していくことにした。

### 要望

○久慈議員 周囲の田んぼの所有者から、日が当たらなくなつたとかクレームがつかないように事前に周囲にも説明して、滞りなく進めてもらいたい。  
●副村長 隣接の所有者や利用者に不便をかけないよう第一に考えていきたい。

○柿崎議員 以前、バイパス横断は危険なので信号機を設置できないかと一般質問でしたが、無理だという回答だった。ただ、庁舎が建つことでそれなりの交通量が見込まれるので、ぜひ今回は信号機をつける前提で話を進めてもらいたい。  
●副村長 県の公安委員会、警察関連の判断になる。小学校通りにも信号機があり、距離がどうなのかという懸念もあり、一般の信号機はなかなか難しいと考えられるので、可能であれば押しボタン式信号機という形で要望活動はしたい。

# あなたの声を村政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などに方針を問うものです。

議員一人当たりの制限時間は90分で、質問の回数は1つの質問につき、3回までです。



答弁する高田健康福祉課長（左） 質問する久慈省悟議員（右）

ページ	質問事項	質問議員
6～7	1. 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について 2. 長科大排の全面改修工事について	小鹿重一
8～9	1. 蓬田紳装株式会社及びよもぎたアシスト株式会社の現在までの経営状況と決算の見通しについて 2. 新型コロナウイルスのワクチン接種について	吉田 勉
10～11	1. 転作（飼料用米）について 2. 農業用機械等購入支援事業について	川崎憲二
12～13	1. 小中学校へのエアコン設置を求める 2. 国道280号バイパス防雪柵の完全収納を求める 3. 村長の政治姿勢について意見を求める	坂本 豊
14～15	1. 空き家対策について 2. 職員採用について	久慈省悟

議事録は議会事務局や村のホームページで閲覧できます。





# 小鹿重一の一般質問

第2回定例会（6月10日）

## 新型コロナウイルスワクチン1回目の接種者数は

（村）5月末時点で481名が接種済

**Q**

新型コロナウイルス感染症は依然として終息の兆候が見えず、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が出されている都道府県もある。県内でも、連日のようにクラスターが発生し、去年よりはるかに悪い状況にあると言える。

村のワクチン接種は、5月10日から蓬田診療所で個別接種を開始した。

1回目の接種者数は現在まで何人であったのか。接種者において副反応が確認された事例はあるのかどうか。また、接種事業を開始してその後、問題・課題はあるのかどうか。

**A**

（高田一憲健康福祉課長） 5月10日

から開始し、5月末時点で1回目の接種を終えた方は481人。高齢者の対象者1回目の接種率として44%である。5月31日からは2回目の接種も開始している。

副反応は、今のところ治療を要するような報告はない。

問題・課題として、蓬田村唯一の医療機関として蓬田診療所を個別接種会場として進めているが、医師・看護師・スタッフに何かしらの理由で欠員が出た場合に対応した体制づくりが必要と考えている。それに向けて、蓬田診療所での検討、役場からは地元で退職した看護師等への協力打診、青森県への要望をしている。

キャンセルの対応は

**Q**

キャンセルになった場合の対応をどうしているのか。また、施設の入所者、従業員への優先的な接種の扱いはされているのか。

**A**

（健康福祉課長） 現在、余剰ワクチンが出た場合に、蓬田保育園、蓬田小学校・中学校関係者、障害者施設、蓬田村役場職員などで、そのキャンセルに対応した事前の名簿を作成している。まずはキャンセルが出た場合、蓬田診療所で予約者の前倒しなどをして調整をしてもらう。その次に診療所で調整

接種の予約状況は

**Q**

接種の予約状況はどのようになっているのか。また、今は65歳以上の高齢者がスタートしていると思うが、2回目の接種が終了するのはいつ頃と見通しているのか。

**A**

（健康福祉課長） 現在、高齢者、基礎疾患を有すると申出のあった方、高齢者施設の従事者、60歳から64歳の方が接種券を受け取っており、その方々から予約をもらっ

接種への不安解消に何か対策はしているか

**Q**

ワクチン接種を希望しない人の中には、ワクチン接種によって体に異常が起こるのではないかなど、不安に思っている人もいると思うが、不安解消のための方策は何かなされているのか。

**A**

（健康福祉課長） ワクチン接種に不安を抱えている方への対応として、まずは持病等をお持ちの方はかかりつけ医への相談、また国・テレビ・新聞報道で様々な専門家な

5月末時点で1004名が予約している

かかりつけ医への相談やいろいろな情報から自身の判断を

どこから発信されている情報から、接種によるメリット・デメリットの中で自身の判断になると考えている。

**65歳未満の接種の見通しは**

**Q** 16歳以上65歳未満の人の接種開始の見通しはどうか。今後は12歳からの接種も始まるとの報道もあるが、村の対応はどうか。

**9月中に終了の見込み**

**A** (健康福祉課長) 6月1日から65歳未満の方への接種券発送を段階的に進めている。接種率を80%で計画した場合の終了時期として、9月中を見込んでいる。また、12歳から15歳も、5月末時点で対象として報道された。接種のよりよい方法を検討しながら順次進めていきたい。

**長科大排の全面改修 工事をできないか**

(村) 県、土地改良区、村で協議、現地調査の予定



崩落して急きょ工事した箇所

**Q** 昭和43年から47年に県営第二中沢長科地区ほ場整備事業で整備された長科大排は、長科川上流部の頭首工からJR津軽線までの長科川を約2キロの大排水路として、圃場の基盤整備事業に伴って整備されたものである。

数年前から擁壁が崩落するようになってきた。今年の雪解け時には、20枚ほどの擁壁の崩落が確認され、急きょ、村に工事してもらったが、崩落が心配される箇所が見られる。これは毎年の雨水、水田からの漏水・落水、降雪による圧力等に加え、およそ50年を経過したことによる構築物の経年劣化が原因と考えられる。土地改良区とも協議の上、全面改修工事ができるのか。

**A** (稲葉正明建設課長) 令和3年5月、県、土地改良区、村で大排の整備について協議をしている。受益面積

20ヘクタール以上、総事業費200万円以上、耕作者2名以上が採択要件の県営農地耕作条件改善事業で整備できると考えている。負担割合は国55%、県27.5%、村10%、地元7.5%である。今後、三者で現地調査をすることになっている。

**村長の意見は**

**Q** 農家が安心してま た田んぼをつくっていきける状況を確認したいので、お願いしたい。村長の意見をうかがいたい。

**今後進めていきたい**

**A** (久慈修一村長) 農業を継続してやるためには、用水・排水路の確保はやらなければいけないと思っているので、今後進めていくようにしたい。



# 吉田 勉の一般質問

第2回定例会（6月10日）

## 蓬田紳装とよもぎたアシストの 経営状況と決算の見通しは

### （村）新型コロナの影響で大変厳しい

**Q** 蓬田紳装で、定年後の再雇用を打ち切ったことから、地域住民から紳装は大丈夫なのかという声が大変多く寄せられた。新型コロナウィルスの影響により非常に厳しい状況が続くと思われるが、不安視している地域住民へ、社長でもある村長の声で、現状と決算の見通しを説明願いたい。また、よもぎたアシスト株式会社についても同じく説明願いたい。

まず、蓬田紳装では人員を下げないと会社そのものがもたないということで、65歳以上の方の定年後の再雇用を打ち切った。令和2年度の決算は、新型コロナウィルスの影響がなかった元年度と比較すると、生産着数は1万4517着少ない2万7490着であった。売上総額は、元年度が6億6639万円、2年度は4億2063万円で2億4576万円の減。

また、昨年工場セールを開催し、3274万円の売上げがあった。蓬田紳装の苦しいとき、経営の安定と雇用の維持に大きく協力してもらった村民をはじめ県内各地からきてもらった皆さんには厚く御礼を申し上げます。

この結果、営業損益では、1億2428万円の赤字であった。しかし、国・県・村からの交付金、給付金、雇用調整助成金などを合わせて9913万円の営業外収益があり、経常損益では2870万円の赤字という結果になった。繰越

利益剰余金が9000万円あったので、赤字分を差し引き、会社としては6185万円の利益剰余金が残った。

次に、よもぎたアシスト株式会社について。元年度との比較で、指定管理委託料を含めた総売上げ（温泉もマルシエも野球場も全て含んで）は、元年が5978万円、2年度が5618万円なので、360万円の減となり、6%の売上げが減った。売上総利益金額は対前年比198万円、3・7%の減であった。営業損益では99万円の赤字である。

現状としては、令和3年4月期で、売上金額が4383万円。昨年からみると1282万円の増だが、経常損益額では859万円の赤字になっている。現在、非常事態宣言、まん延防止等重点措置が行われており、中央の百貨店は閉めて

しかし、蓬田紳装と同じく、国・県・村からの交付金など198万円の営業外収入により、営業損益と合わせた経常損益では99万円の黒字となった。温泉部門が営業損益で赤字になったのだが、主な原因は、よもぎ温泉の非常事態宣言による休業と、施設の改修に伴う休業による収入減少、さらには新型コロナウィルス等による顧客の減少が考え

られる。この間、コスト削減で努力してきたので、どうにか最終的には黒字になった。

**A** （村長）村長の立場ではなく、両者の代表取締役という立場で説明する。始めに、新型コロナウィルスの流行により、大変売上げが減少して、厳しい経営内容であることを認識してもらいたい。

3年4月期の月別決算では、売上総額が512万円、昨年同期と比較し、69万円、15・5%の増。経常損益では260万円の黒字となっている。しかし、蓬田紳装と同様、非常事態宣言、まん延防止等重点措置が発せられている都道府県があり、青森市の現在の感染状況、医療逼迫状況から、お客様がわが村に来てくれるかどうか見通せない部分がある。

**Q** 村長は昨年の12月議会で、2月から3月頃には紳装と御幸毛織株式の間で受注数についての話し合いを持つと答弁した。話し合いはなされたのか。なされたとすれば、受注数はどのくらいになるのか。

3年度の受注数はどのくらいか

村長は昨年の12月議会で、2月から3月頃には紳装と御幸毛織株式の間で受注数についての話し合いを持つと答弁した。話し合いはなされたのか。なされたとすれば、受注数はどのくらいになるのか。



また、蓬田紳装の決算書に、3年度の生産数はスーツ換算で3万7560着とあるが、令和2年と比べて約1万着多い。これは実現可能な目標なのか。

**打ち合わせは9回行った**

**A** (村長) 打合せは、令和3年2月4日から3月10日まで、メール、対面を合わせて9回行った。

3年度の年間生産数は、新型コロナウイルスの影響があった2年度(2万6226着)の43・2%増の3万7560着を見込んでいる。年間売上総額は、2年度(4億2063万円)と比較して、43・2%増の6億216万円を計画している。

大丈夫なのかということについては、私どもも推測不可能と言わざるを得ない。それでも、計画としては、経常利益では539万円の黒字を確保しようというところで御幸グループと協

議して決めた数字である。

現在、他社の工場の閉鎖や生産数がだんだん下がってきているということ、蓬田紳装に別なところから何とか生産を手伝ってもらえないかと話が来ている。

しかし、従業員を減らしながらこの会社経営をやっており、従業員を増やしてやるかというところ、見通せない状況であるので、現在のところは協議中である。できるだけ私どもが立てた事業計画に従って会社を運営していきたいと思っている。

**自宅に採寸に伺うなどのサービスを検討しては**

**Q** 令和3年度の事業計画の重点事項の中にフィッターの育成とあった。村内の一般需要に応えるために、電話連絡などでお客様の都合のよい時間に採寸に伺うようなサービスまで検討する必要があるのではないかと考えられているか。

**現状では難しい**

**A** (村長) 現在、蓬田紳装での採寸は、工場長1名、ほか2名で対応している。フィッターの育成は、女性向けの服を作る場合に、男性がやるのは抵抗があるということ、女性対応のフィッターを育成できないかと計画に盛り込んだ。

現状、採寸できる者3名のうち2名は工場の一員として入っているのが個人の自宅に行くというのは非常に困難である。今後検討しなければならないと思っ



昨年10月のオーダースーツキャンペーン

**65歳以上は予定通り接種が完了するか**

**(村)可能であると考ええる**

**Q** 7月下旬で65歳以上の高齢者フクチンの接種を終えるとの報道があった。村では診療所だけの接種で可能なか。5月末から1回目と2回目接種の方が混在し、接種人数が増える。3密回避のためどんな対策を取るのか。

**A** (健康福祉課長) 国から示されたスケジュールに沿って、現在の体制が維持された場合は可能であると考えている。5月31日から高齢者に2回目の接種も開始されている。開始日が月曜日、朝一の時間帯での混雑は見られたが、座る場所がないような状態ではなかった。接種者の1回目の経験と診療所スタッフの接種体制の見直しで、おおむね良好に実施さ

**後で接種を希望した場合は受けられるか**

**Q** 当初、接種を希望しなかつた方が、後で受けたいとなった場合の対応はどのようにするのか。

**来年2月末までなら受けられる**

**A** (健康福祉課長) 後で接種を受けたい方は、来年2月末まで実施期間なので、その間であれば受付して接種をしてもらうことになると思う。



# 川崎憲二の一般質問

第2回定例会（6月10日）



蓬田地区の飼料用米を作付けしている転作田。ピンク色の旗が目印

## 今年度の主食用米の作付面積は

(村)作付面積は前年比12・8ヘクタール減

**Q**

近年、「コロナ、また米余りで、米の需給のバランスが大分崩れて米が余剰している。21年産も、政府では主食米を6・7万ヘクタール削減したいといろいろ調整しているようだ。青森県では転作率で3〜5%ということになるが、蓬田村では今年度の主食用の実績、積み上げの面積と前年の実績はどうなっているのか。

**A**

(高田徹産業振興課長) 令和2年の主食用米の作付面積は50・5ヘクタールで、令和3年の5月末現在の作付予定面積は487・7ヘクタールとなっており、12・8ヘクタールの減少となっています。

**Q**

飼料用米の作付けを推進していくのか

現在、国でも飼料用米を推進していくとしているが、村でもパンフレットなり、また説明等をしていると思う。飼料用米と主食米のどちらが得するかという状況だが、昨年の主食米のまっしぐら分の単価が1万1400円で、今年度の単価はまだ不明だが、飼料用米を作付すると、基準でいくと国からまず8万円（1反歩あたり586キロ収穫）、それから村から示されたメニューを2つクリアすると1万2000円と1万円で2万2000円はつく。10アール当たりでいくと、合わせて10万2000円が手取りになる。そういう観点からいくと、今年、主食米が仮に1万円まで下がった場合、10俵取れたとしても10万円というところで、飼料用米を作付したほうが、農家にとっては手取りが多くなる

**A**

飼料用米への作付け転換を推進していく

(産業振興課長) 令和3年5月27日に令和3年産米等の4月末時点での作付意向が東北農政局より公表された。全国的には約3・7万ヘクタールの減少見込みで、作付転換が必要な6・7万ヘクタールの5割強といった状況だ。

当村では、令和2年度中から主食用米の価格が下落傾向であるということ踏まえ説明会を開催し、飼料用米への作付転換を促してきたところだ。3年産米の需給均衡のためにも飼料用米を軸に作付転換を推進していく。

ということになるが、村では今後推進していくのか。



変更はいつまで可能か

**Q**

昨年はコロナの影響もあり、8月まで作付の変更をできたと思うが、今年はいつまで変更できるのか。

今月中旬まで

**A**

(産業振興課長)  
経営所得安定対策交付金申請書の耕作者から村への提出期限は6月4日で、村から国への提出期限が6月30日となっている。書類の審査等の事務処理の時間を考慮すると、6月中旬まで変更が可能と思う。

要望

村内の農家の状況を見ると小さい農家はまだ危機感がない。パンフレットなどで飼料用米を作付けしたほうが得だと分かりやすく説明し、幾らかでも農家の手取りが多くなるような推進をしてほしい。

# 農業用機械導入支援事業の今年度の申し込みは

## (村)1次募集に23名応募、全員採択され約936万円が補助予定



昨年度の事業で採択された農業用機械

**Q**

昨年の新規事業で3年継続する農業用機械等購入支援事業について、今年度の申し込みはどという状況か。

要望

**A**

(産業振興課長)  
令和3年4月1日から5月31日までに1次募集をしたところ、23名の応募があり全員採択され、予算1000万円のうち936万2000円が補助予定になっている。23名中新規の方が14名で60%、2回目の方が9名で40%となっている。

事業2年目になると申し込みが少し少なくなると思ったが、これだけ機械を購入すると人がいるとなれば、ありがたい事業だと思っている。

来年度も実施する事業だと思われるが、次年度へ向けた農業機械を今年度中に購入した農家に対して、来年度の申し込みの対象にできないか検討してほしい。





# 坂本 豊の一般質問

第2回定例会（6月10日）

## 小中学校のエアコン設置にかかる費用は

### (村)概算で2億2000万円

今ところは必要だ

**Q** 小中学校のエアコン設置は、以前の一般質問で村は拒否をしている。しかし、今後は必要と考える。設置に必要な予算は幾らかかるのか。

**A** (小松生佳総務課長) 5月31日開催の庁舎建設検討委員会から新庁舎建設に関しての基本構想が村長に答申をされている。今後のスケジュールとして、建設予定地の用地買収の交渉等に始まって基本設計、実施設計、諸手続を経て、新庁舎の建設工事と進む予定だ。基本設計時に各種設備に関する部分も出てきて、その中の判断になると思うが、今のところエアコンは必要であると思われる。

**Q** 建設が計画されているが、新庁舎にはエアコンの設置は必須だと考えている。エアコン設置は計画しているのか。

**A** (木村伸一教育課長) 概算で小中学校で9000万円、中学校で1億3000万円を見込んでいる。工事内容は、エアコンの設置とキュービクルの新設となっている。

**役場新庁舎にはエアコンを設置するのか**

**Q** 現在、役場新庁舎建設が計画されているが、新庁舎にはエアコンの設置は必須だと考えている。エアコン設置は計画しているのか。

**A** (総務課長) 決してお金がないからつけないわけではない。整合性が問われるということだが、庁舎の場合は設計段階からの設備なので、電気関係、熱効率、取り付ける場所の構造体等が最初から想定されて設計がされる。一方、小中学校の場合

**Q** 新しい庁舎にはエアコン設置が前提と考えるのが普通である。

**A** (総務課長) 決してお金がないからつけないわけではない。整合性が問われるということだが、庁舎の場合は設計段階からの設備なので、電気関係、熱効率、取り付ける場所の構造体等が最初から想定されて設計がされる。一方、小中学校の場合

**役場はつけるのに学校はつけられないのか**

**Q** 役場はつけるのに学校はつけられないのか

前回も、暑いのは夏休み後1週間か10日くらいだという答弁があった。学校の現場からはエアコン要望の声がないと言っているが、暑くて、熱中症になりかけている子もいる。役場庁舎にエアコン設置が前提なら、お金がかかるから学校にはつけられないというのはおかしいのではないか。

**設置要望がない**

**Q** 設置要望がない

**A** (総務課長) 決してお金がないからつけないわけではない。整合性が問われるということだが、庁舎の場合は設計段階からの設備なので、電気関係、熱効率、取り付ける場所の構造体等が最初から想定されて設計がされる。一方、小中学校の場合

**設置要望がない**

**Q** 設置要望がない

は、既存の構築物に後づけをするようになるため、エアコン本体のほか、キュービクルの新設、電源の電気設備の増強など全面的に建物の改修をしなければいけない。現場からの設置要望がないということであり、今後、要望があれば、検討したいと考えている。

**青森市の小中学校のエアコン設置は承認しているか**

**Q** 青森市では小中学校全部にエアコンをつけている。この件について村は承認しているのか。

**A** (総務課長) 青森市の新型コロナの関係事業で整備したエアコンの二ニューズは見た。そのエアコンは、一般家庭用のようなエアコンだった。壁

**承認しているが村内の学校とは状況が違う**

**Q** 承認しているが村内の学校とは状況が違う

で仕切られている教室であれば、冷房効果はあるかと思う。しかし、蓬田小学校の教室の構造はオープンになっており、廊下と隔たりがない。そうなるエアコンもそれなりに大がかりなものが必要となる。

**子どもや保護者の声聞いてみたい**

**Q** 子どもや保護者の声聞いてみたい

**A** (教育課長) 先生方の声では、設置の必要ないということであった。今後、PTAや評議委員会などいろいろな会があるので、その中で意見があれば、アンケートなどいろいろ検討していきたい。

**今後アンケートなど検討する**

**Q** 今後アンケートなど検討する

# 防雪柵の柱の完全収納を求める

## (村)危険箇所は個別に県と協議



設置されている柵

**Q** 防雪柵を完全収納するまで質問をしない、諦めたと思われるので、また質問をする。

農作業で頻繁にバイパスを横断するが、防雪柵はやはり見通しが悪く危険だ。事故が起きれば、左右確認の不注意で、横断した車が全責任を取られる。農業者はどんどん高齢化し、事故を起こす確率も高くなって

くる。そのため、危険な防雪柵の柱の収納を県に要請するよう強く求める。

また、この工事で浮いた経費は幾らなのか。

**A** (建設課長) 個別の危険な箇所は、

県と協議をしていく。また、県に問い合わせたところ、浮く経費は概算で蓬田工区は約700万円とのことだ。

**Q** 収納されている箇所があるのはなぜか

**A** 同じ国道280号バイパスでも国道7号線の三菱自動車付近から岡町付近の防雪柵は柱が収納されている。なぜここだけ収納されているのか。

**重要度、警官、経費負担など総合的に選定**

**A** (建設課長) 県に問合せたところ、

防雪柵の柱を収納する区間、収納しない区間は、各路線の重要度や景観、経費負担など総合的に勘案して選定しているので、ご理解、ご協力を賜りたいとのことであった。

**村長の見解は**

**Q** 県の答弁は、格好が悪いから収納している、蓬田村など格好悪くても関係ないと捉えられて、非常に不満に思う。村長の見解はどうか。

県の答弁は、格好が悪いから収納している、蓬田村など格好悪くても関係ないと捉えられて、非常に不満に思う。村長の見解はどうか。

**県議会で話すべきことだ**

**A** (村長) まず、この施設が村の施設でないことは、基本的に理解してもらいたい。その施設をどう管理して、こちらでどうその整合性を取る

か。以前、県土整備事務所から説明をされた。むしろ話をしてきたが、逆に村で安全対策をしてほしいと

# オリンピック開催をどのように考えるか

(村)慎重に判断したほうがいい

**Q** 新型コロナウイルス感染症がいまだに収束する心配がない。政府は東京オリンピックは開催すると言っている。外国から選手・報道陣・関係者が数万人規模で日本に来るわけで、感染をさらに広めることになり、医療の崩壊を招きかねない暴挙だと私は思っている。

持っているのか。

**A** (村長) 私自身、村民の安心・安全を守ることを大前提に政治をやっている。新型コロナウイルスの流行下、非常事態宣言の中の開催は無理だろうと思う。しかし、IOC、JOC、国、東京都、組織委員会など数年にわたって努力してきた関係機関が、専門家の意見を聞きながら、感染状況やフクチンの接種などの状況を勘案して総合的に慎重に判断したほうがいいというのが私の意見だ。

オリンピックが終わった後、変異株が増えて、東京などから青森県に人が移動し、蓬田村も危険にさらされることも考えられる。村長はこのオリンピック開催にどのような考えを



# 久慈省悟の一般質問

第2回定例会（6月10日）

## 空き家のリフォームにかかる経費の補助をできないか

（村）空き家バンクを検討したい

**Q** 村では、空き家の調査を現在進めて

ないため、現在はその制度がない状態だ。

おり、危険空き家の解体に伴う経費の補助事業、30万円を上限に補助を実施している。空き家を少なくしていくという観点から、空き家をリフォームする人や空き家を購入する皆さんに対して、水回りや様々な設備のリフォームなどにかかる経費の補助をする制度をつくることはできないか。

**A** （総務課長）空き家の調査は、補助の対象が決定になるタイミングを見計らって進めていく予定だ。一般的なリフォーム関係の助成金等の制度については、過去にはそういう助成金の制度はあったが、いずれも実績が

それから、空き家をリフォームして活用しやすくするための補助制度制定については、空き家の環境調査を完了して、利活用等の方針を出した後の空き家バンク等がないと、その補助金・助成金でリフォームして売れるようにしても、買い手と売り手のマッチングができない。調査が終わって空き家のバンクの制度が設立できれば必要になると思われるので、今後検討していきたい。

他市町村のようない目新しい政策を

**Q** 今朝のテレビのニュースで、つが

る市が移住者マイホーム応援事業として上限100万円の補助事業を実施しているという報道があった。青森県では、ごんごん人口が減っている。青森県の人口は現在130万台で、私の子どもの頃から見れば、20万人減っている。ある政治家に言わせれば、1つの町が消滅してしまったということであり、私たちの村もごんごん高齢化が進み、子どもたちは関東とか遠いところで仕事上戻ってくることもできない。空き家もますます増える一方だ。

が可能かということも考えていかなければならない。知人に言われて私も2件ほど、郷沢地区と瀬辺地区の物件を紹介した。いろいろなやり取りの中で紹介したら、すぐ決まったような状況で、このように自分な状況ではないが、村のことを考えれば空き家を増やさないような対策を自らやらなくてはならないと思

では、そのバンクを使ってその空き家を使う人、そういう人たちに何か助成できないかということについてはバンク制度をつくった上で検討していかなければならぬということも常々申し上げている。

できるだけ早く対応したい

**A** （村長）この空き家問題は本当に大変な問題だ。放っておくとごんごん増えてきて、物件そのものが古くなって使えなくなってくる。やはりそ

れを村が仲介するとなると、空き家バンクという制度をつくらざるを得ないだろうと思う。



# 村民を中心とした職員採用をするべきでは

## (村)募集要項で制限はできない

**Q** 役場職員が定年で退職したとき、必ず代わりをその年に採用しなくてはならないということはない。村民の子どもたちがその年、採用に受験希望者がいない場合は、一、二年遅らせてもよいのではないか。また災害などが発生した際には通勤途中に様々なことに巻き込まれることも考えられ、できれば村民を中心とした職員採用をするべきではないのか。

答弁したが、出身地や居住地、勤務条件、性別、健康者か障害者かなどの制限をつけた募集要項で門戸を狭くすることは法律上できないことになっている。ちなみに職員募集で村内在住者からの応募の実績は、平成28年度は上級職の応募者4名中、村内が3名、初級職の応募者5名中、村内は2名であった。29年度は上級職の応募者4名中、村内が2名、初級職の応募者5名中、村内が1名、30年度は初級職の応募者3名中、村内が1名。令和元年度は初級職の応募者2名中、村内が1名。2年度は初級職の応募者4名中、村内が1名であった。また、採用時、村内在住者でもそれぞれの事情で、

**A** (総務課長) 職員採用には、職員の定数に関する定員適正化計画があり、その計画に沿って採用試験を実施している。必ず代わりを採用しないといけないということはない。令和元年6月定例会でも

その後、隣接市町に転居して通勤をする者もいる。緊急時は、集合した者から役割分担を割り振りして業務に対応させる。

村民の暮らしの安定には村内からの職員採用がベストではないか

**Q** 採用後、家庭の事情で村外から通うことになった方にまでどうこう言つてもいいはない。ただ、村の政治家や職員には、村民の暮らしを安定させ困難させないような政策を進める努力をする義務がある。地元の若い人たちが採用することによって、将来的な人口減少も防げる。また、津波などが起きた場合、消防団だけでは対応ができないときに消防団とともに行動する職員の力が必ず必要だ。村民の暮らしの安定を考えた場合、地元村内からの採用がベストではないかと思うが、村長はどのように考えているか。

法にのっとり総合的に判断して採用している

**A** (村長) 地元から職員を採用をしたというのには、皆さんが考えていることだと思う。しかし、私たちは地方公務員法で試験または選考により採用することになっている。公平・公正にやるためには試験をやらざるを得ない。やはりある一定の標準的な職務をこなせる能力を持たないまま、採用したとすれば、村の発展や災害対応などにもマイナスになる部分がある。したがって、一次試験を行い、一定の点数を取った者に対して2次試験を行い、総合的に判断し採用している。

私も地元の人には何とか受けてほしいが、応募者4人のうち、村内から1人しか応募がないという状況である。何とか皆さんで村の若い方が役場の試験を受けるよう推進してもらいたい。

村民に安定した生活をしてみたい

**Q** 私は、村民に公務員になって1軒でも多くの家庭に安定した生活してもらいたい。その思いで、村の子どもたちを採用できないのか。

法律は無視できない

**A** (村長) 法律は曲げられない。地方公務員法を無視してやるわけにはいかない。今の状況を考えれば、村営のアパートのような住居場所を確保する政策を考えることが必要ではないかと考えている。

### 要望

私は試験結果の改ざんをしろとかそういうつもりで質問をしたつもりはないので誤解のないようお願いしたい。

# 令和3年 第2回臨時会

7月13日、開催されました。  
議案2件を審議し、原案どおり  
可決しました。

## 動産の買い入れ 契約の締結

■小型ロータリー除雪車1  
台購入について、指名競争  
入札を行い、契約金額32  
34万円で株式会社青工と  
の契約締結を可決した。  
可決（賛成7、反対0）

## 主な補正予算

（千円単位四捨五入）  
■令和3年度村一般会計補  
正予算（第2号）

吊り下げバスケット  
ト台を点検

安全に利用するため、小  
学校、中学校、トレーニン  
グセンターの吊り下げ式の  
バスケット台の保守点検を  
します。  
○吊り下げバスケット台保  
守点検委託料 総額30万円

○新型コロナウイルス感染  
症対応地方創生臨時交付金  
を活用し実施する事業

## 弘前大学の学生に 食事支援

包括連携事業を締結して  
いる弘前大学の学生へ地元  
の産品を活用して支援しま  
す。村からはトマト、タマ  
ネギ、加工品の詰め合わせ  
など

○弘前大学学生食事支援事  
業委託料 127万円

## 網戸を付け替え

換気機能の強化のため、  
小学校、中学校、ふるセ  
ン、トレセンの網戸を更  
新、新設します。

## 小学校にブランコ を増設

小学校で人気のブランコ  
は、順番待ちで3密の状  
態。地域の幼児等も利用す  
る遊具を充実するため、今  
と同様のブランコを2基増  
設します。

○小学校遊具設置工事費  
279万円

○網戸設計監理委託料、更  
新・新設工事  
総額3799万円



## スポーツガーデン に遊具設置

村の北部に遊具がないた

め、玉松台スポーツガーデ  
ン内に複合ブランコと複合  
すべり台を設置します。  
○スポーツガーデン多目的  
グラウンド複合遊具設置工  
事費 367万円

# 令和3年 第3回臨時会

7月29日、開催されました。  
議案1件を審議し、原案どおり  
可決しました。

## 動産の買い入れ 契約の締結

■小型動力ポンプ付積載車  
（村消防団第八分団）購入  
について、指名競争入札を  
行い、契約金額1467万  
4000円で有限会社丸栄  
消機との契約締結を可決し  
た。

可決（賛成7、反対0）

### — お詫びと訂正 —

前号よもぎた議会だより第205号  
5ページ、質疑の中の「除雪機械購  
入」に誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

正誤 Q（川崎委員）  
Q（坂本委員）

### 皆さんの声をお聞かせください

村民の皆さんに伝わる広報、広聴広報の誌面作りを目指し、ご意見、ご要望をお待ちしております。

### 青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊  
副委員長：柿崎裕二  
委員：小鹿重一  
委員：吉田 勉  
電話 0174-27-2111  
(内線900, 901)

### ◀◀ 傍聴をお待ちしています ▶▶

村政の主役は、村民のみなさんです。  
議会だよりでは、スペースの都合上、要  
約してありますので、村の今とこれから  
をよく知るには、臨場感のある傍聴がイ  
チバン！

9月定例会は、9/7開会予定です。  
役場2階でお待ちしています。

編集後記  
役場新庁舎の建設につい  
て村民で構成される検討委  
員会より、村へ建設基本方  
針が答申され、本格的に事  
業が進む中、農家の方々は  
田植えを終え一安心、後は  
天候を願うばかりではない  
でしょうか。  
一方、熱海市伊豆山を  
襲った土石流、また島根、  
鳥取の大雨など各地へ甚大  
な被害をもたらし不安が募  
るばかりです。  
それに加えコロナ禍での  
オリンピック開催が目前に  
迫り、全国ではワクチン接  
種が急がれてはいるもの  
の、その進みには苛立ちを  
隠せない状況です。幸い村  
内では順調に進み9月下旬  
には、おおかたの接種完了  
が期待できそうです。今ま  
での生活様式が一変し通常  
の生活が制限され、心身と  
もに疲労困憊の中、一刻も  
早いコロナ終息を願うばか  
りです。  
広瀬の髭